

申込期間を 1/31 まで延長しています

2018年度

貧困問題・生活困窮者支援ソーシャルワーク全国実践フォーラム ～ 生存権保障を支える・生存権保障を担うワーカーも支える～

生活困窮者自立支援制度が始まり全国的に支援が行われるようになった一方、生活保護法“改正”の名の下、相次ぐ生活保護基準引下げを含め、今、最低生活保障が脅かされています。その中で、私たちソーシャルワーカーは倫理綱領や行動規範に照らし、生存権保障の現場で「自らの実践」が適切に行えているのか？ 今一度、“原点”に立ち戻ってみませんか？

今回、貧困問題の最前線で活躍しているソーシャルワーカー、生存権保障を担っているソーシャルワーカーの方々をお招きし、困難に感じる支援場面や貧困問題の複雑さを会場の皆さまと共有し、『～現場から考える～を大切にしたいフォーラム』を開催します。

貧困問題や生活困窮者支援の現場で悩んでいるソーシャルワーカーの皆さま、ぜひこの機会にご参加ください！

開催日時 2019年2月23日(土) 10:50(開会)～17:00(閉会)
参加定員 150人
会場 「日本交通協会」東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 9階
JR「有楽町」駅徒歩2分

第1部 基調講演

『生存権保障を支えるーソーシャルワーカーだからこそできることー』



新保 美香(しんぼ みか)氏

高齢者ケアセンター、福祉事務所勤務を経て、1997年より明治学院大学にて教育研究活動に従事。専門は社会福祉学、公的扶助論。貧困、生活保護、生活困窮者支援に関するソーシャルワークに関心を持ち、実践者の取り組み、当事者の声に学んでいる。厚生労働省「生活困窮者自立支援制度自立相談支援事業従事者養成研修事業企画委員会」委員。社会保障審議会「生活困窮者自立支援及び生活保護部会」委員。

第2部 パネルディスカッション

「生存権保障の現場の今～当事者とソーシャルワーカーを支える視点を考える～」

貧困問題の最前線で活躍する各支援機関・団体の方にご登壇いただきます。

時間	プログラム
10:50	オリエンテーション・開会挨拶
11:00 ～ 12:30 (90分)	第1部 基調講演 『生存権保障を支えるーソーシャルワーカーだからこそできることー』 講師 新保 美香 氏 (明治学院大学)
13:30 ～ 17:00 (210分)	第2部 パネルディスカッション 『生存権保障の現場の今～当事者とソーシャルワーカーを支える視点を考える～』 コーディネーター 島崎 義弘 氏 (社会福祉法人 今治市社会福祉協議会) 助言者 新保 美香 氏 (明治学院大学) パネラー 加藤 慶 氏 (沖縄大学) 小林 聖子 氏 (豊島区くらし・しごと相談支援センター) 宮澤 進 氏 (独立型社会福祉士事務所 NPO 法人ほっとポット)
17:00	閉会 ※懇親会(希望者のみ)

参加対象 貧困問題・生活困窮・ホームレス状態の方などへの相談・支援へ関心のある方

参加費 都道府県社会福祉士会会員 9,000円・会員以外 11,000円(資料代を含む)

懇親会 希望者のみ。参加費用は4,000円です

申込締切 ~~2019年1月11日(金)~~まで(先着順) ⇒ 1月31日(木)まで延長します。